

IntCal13は何が画期的なのか Why is the IntCal13 special?

中川 毅^{1*}; SG06 プロジェクト メンバー一同¹
NAKAGAWA, Takeshi^{1*}; SUIGETSU 2006, Project members¹

¹ ニューカッスル大学地理学教室

¹Department of Geography, Newcastle University (UK)

放射性炭素年代が較正を必要とすることは広く認識されている。世界のいくつかの研究グループが較正モデルを提案しているが、その中でもっとも広範に用いられているのは IntCal と呼ばれるモデルである。IntCal は 1998 年に最初のバージョンが公表され (IntCal98)、その後 2004 年 (IntCal04)、2009 年 (IntCal09) と改訂を重ねてきた。だが 2013 年に公表された最新版の IntCal13 は、それまでの IntCal とは大きく一線を画す画期的なモデルであると評価されている。いったい IntCal13 の何が特別であるのか、また IntCal13 とそれ以前のデータセットとの比較から何が明らかになったのか、主として放射性炭素年代測定の専門家以外を対象として概説する。

キーワード: IntCal13, 放射性炭素年代測定, 放射性炭素年代較正, 年縞堆積物, 水月湖, 海洋リザーバー効果

Keywords: IntCal13, Radiocarbon dating, Radiocarbon calibration, Varved sediment, Lake Suigetsu, Marine reservoir effect